

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(数 学) 科目 (数 学 I)
 単位数：(4) 単位 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組
 使用教科書： 実教出版 高校数学 I
 使用教材 ： 実教出版 ステップノート 数学 I

	指導内容	科目 (数 学 I) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	数と式	整式の加法・減法・乗法について計算することができる。 乗法公式を利用して計算することができる。 因数分解の公式を利用して因数分解ができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	8
5月	数と式 実数	簡単な置き換えをして因数分解することができる。 数を実数まで拡張する意義を理解することができる。 平方根の簡単な四則演算について理解することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	12
6月	方程式 不等式	方程式における解の意味を理解し、1次方程式について解くことができる。 不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 不等式が値の範囲を表すことを理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	16
7月	不等式	不等式の性質を理解している。 不等式における解の意味を理解しており、1次不等式を解くことができる。 連立不等式を、数直線を用いて解くことができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	14
8月				
9月	2次関数	2つの数量の関係を式で表現できる。関数の値を求めることができる。 1次関数のグラフがかけられる。 放物線の形や軸、頂点について理解している。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	12
10月	2次関数	$y=ax^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 $y=a(x-p)^2$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせであるととらえることができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	15
11月	2次関数の値の変化	2次関数が最大値、または最小値をもつことを理解している。 2次関数の値の変化をグラフから考察できる。 2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値が求められる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	15
12月	2次方程式 2次不等式	解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。 2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められる。 2次不等式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	12
1月	三角比	直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求められる。 相似な三角形の考察から、三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを理解している。 直角三角形において、正弦・余弦・正接が求められる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	12
2月	三角比の応用	三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 正弦定理が理解できる。余弦定理が理解できる。 三角形の面積が求められる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	12
3月	集合と論証 データの分析	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用することができる。 統計の基本的な考え方を理解し、それを用いてデータを整理・分析し、傾向を把握することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	12

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(数 学) 科目 (数 学 I)
 単位数：(3) 単位 対象学年組：第 1 学年 5 組～ 6 組
 使用教科書： 実教出版 高校数学 I
 使用教材 ： 実教出版 ステップノート 数学 I

	指導内容	科目 (数 学 I) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	数と式	整式の加法・減法・乗法について計算することができる。 乗法公式を利用して計算することができる。 因数分解の公式を利用して因数分解ができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	6
5月	数と式 実数	簡単な置き換えをして因数分解することができる。 数を実数まで拡張する意義を理解することができる。 平方根の簡単な四則演算について理解することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	10
6月	方程式 不等式	方程式における解の意味を理解し、1次方程式について解くことができる。 不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 不等式が値の範囲を表すことを理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	12
7月	不等式	不等式の性質を理解している。 不等式における解の意味を理解しており、1次不等式を解くことができる。 連立不等式を、数直線を用いて解くことができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	11
8月				
9月	2次関数	2つの数量の関係を式で表現できる。関数の値を求めることができる。 1次関数のグラフがかけられる。 放物線の形や軸、頂点について理解している。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	10
10月	2次関数	$y=ax^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 $y=a(x-p)^2$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせであるととらえることができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	12
11月	2次関数の値の変化	2次関数が最大値、または最小値をもつことを理解している。 2次関数の値の変化をグラフから考察できる。 2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値が求められる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	12
12月	2次方程式 2次不等式	解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。 2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められる。 2次不等式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	9
1月	三角比	直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求められる。 相似な三角形の考察から、三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを理解している。 直角三角形において、正弦・余弦・正接が求められる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	8
2月	三角比の応用	三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 正弦定理が理解できる。余弦定理が理解できる。 三角形の面積が求められる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	8
3月	集合と論証 データの分析	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用することができる。 統計の基本的な考え方を理解し、それを用いてデータを整理・分析し、傾向を把握することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	7